

居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE



神戸まつりが
居留地にもどってきた。

さくら銀行本店前での「プロムナードコンサート」 写真提供：神戸新聞社

第27回神戸まつりが去る7月17日「きららKOBEST☆元気アップ」を合言葉に開幕。震災から3年目の今回、ようやく三宮、元町の目抜き通りにパレードが戻って来ました。さくら銀行本店前で行われたプロムナードコンサートを皮切りに、パレード第一部は

市民1,000人のサンパチームを先頭にインドネシアや中国、韓国の舞蹈団も加わり国際色豊かなものとなりました。ひとときわ歓声の高かった地元のプロサッカーチーム・ヴィッセル神戸や、着飾った子どもたちの行進も人気を集め85団体約7,000人は三宮のフラ

ワーロードから元町を抜ける2.1キロを陽気に進みました。

名物のサンパをはじめ全国の夜祭りの華麗な光の競演に、明るさと活気を取り戻した神戸のメインストリート。3年ぶりのパレードの復活は再生へのあふれるパワーを感じさせてくれました。

旧居留地連絡協議会 平成9年定時総会で 事業計画・予算案などを承認

平成9年4月25日、第一楼において、旧居留地連絡協議会平成9年定時総会がおこなわれました。(株)ノザワ・最高顧問の野澤太一郎会長の挨拶の後、平成8年度事業報告、平成9年度事業計画案などが承認されました。

＜平成9年度 旧居留地 主な事業計画＞

復興計画およびガイドラインに沿ったまちづくりの実現に向けて

1. まちなみ修景事業の検討・推進

◇ビル銘板の設置方策の検討と推進

ビル銘板の設置にあたって、その主旨やデザインなどの方針を設定した上で、事業化活動を推進します。

◇街灯整備方策の検討と推進

明石町筋をはじめ、旧居留地全体について街灯の望ましいあり方を検討し、実現に向けての活動を推進します。

◇サイン計画の策定

わかりやすく美しいまちなみの形成を目指し、案内サインの設置場所や種類、デザイン、事業化方策などについて総合的な検討を進め、駐車場導入看板の統一仕様化についても検討します。

2. 各種調整・要望

◇地域内パーキングメーター撤去のための活動

昨年度に引き続き、パーキングメーター撤去のための活動・要望を推進します。

◇建設計画など調整のための体制の確立

ビルの建設や改修あるいは公共施設の整備にあたって、良好な、魅力あふれるまちなみづくりの観点からの協議・調整を今後とも推進していきます。

また、そのために神戸市とも連携を図りながら、その体制を確立するための検討を進めます。

各社
ご協力を

旧居留地内に各種の銘板・サインを設置

復興推進委員会では、旧居留地が明治以降に培ってきた歴史的蓄積を顕彰・披露するとともに、わかりやすいまちづくりを進めるために、銘板やサインのあり方を検討してきましたが、①まちの歴史と現在を紹介する「旧居留地マップサイン」、②地区内の通りや筋を標示する「街路標識サイン」、③ビル敷地ごとの地番や歴史的エポックを紹介する「個別銘板」の3種類を、今年度事業として行政のご支援も頂きながら設置する方針を固めました。

設置する具体的な場所などについては、これから各ビルと協議させていただき、順次決めていく予定です。会員をはじめとする地区内企業各位のご理解とご協力をお願いいたします。

まち 都心づくりガイドラインを神戸市に提出

平成7年10月に「神戸旧居留地／復興計画」の策定とともに発足した復興推進委員会。その委員会が取り組んできた「都心づくりガイドライン」が平成9年3月ついに完成し、5月21日に神戸市長へ手渡されました。これを土台に今後も豊かなまちなみの形成が望まれます。



旧居留地と「ガス灯」

今年3月に復興オープンした大丸神戸店の周辺を取り巻くガス灯は、旧居留地らしい雰囲気醸し出しています。日本で最初のガス灯は明治4年に大阪の造幣局の敷地内および往来に設置されました。神戸ではそれから3年後の明治7年に横浜、東京に次いで4番目に設置されています。(現在、当時のガス灯は明治村に移設) 当時は居留地内のブラウン商会が中心となり、外国人たちがガス会社の設立を県に出願しましたが認可が得られなく、日本人を加えた「兵庫ガス会社」でようやく設立したとのこと。

現在、神戸市では夜の景観づくりと災害時の照明の確保を目的として、新神戸から北野、トアロード、旧居留地(明石町筋)と続く光の回廊(プロムナード)づくりを進めており、特にこの旧居留地では地域のイメージに合ったガス灯通りをつくる計画があります。

「第12回神戸景観・ ポイント賞」を受賞!

神戸らしい都市景観の形成に寄与された建築行為等に対して表彰が行われる「神戸景観・ポイント賞」(神戸市主催)の選考会が9月3日に開催され、ポイント賞5件、特別賞5件の計10件が決定し、旧居留地地区では、大丸神戸店がポイント賞に選考されました。

旧居留地連絡協議会からは、震災後、いち早く再建され、復興の先導的な役割を果たした4件(第一楼、ホテル・ヴィアマーレ、大丸神戸店、港都ビル)を景観形成市民団体推薦物件として推薦しましたが、最終的に500件近くもの候補物件の中から大丸神戸店が、旧居留地にふさわしい重厚な建物ファサードによる風格ある街なみの形成と建物周辺の公開空地におけるにぎわいとゆとりある敷居空間の演出が高く評価され、受賞となりました。

神戸市役所都市計画局
アーバンデザイン室
TEL: 078(322)5484

地区計画や都市景観 条例に基づく届出を

神戸市では、旧居留地地区を昭和58年に都市景観条例に基づく都市景観形成地域に指定し、また平成7年4月には都市計画法に基づく地区計画を決定しています。

当地区において建物などの新築・増築・改築・移転・除却・大規模の模様替・外観の過半にわたる色彩の変更や広告物の表示などを行う場合には必ず事前協議のうえ届出を行ってください。

また、まちづくりや都市景観に関するご相談についてもお気軽にお越し下さい。

問い合わせ先
神戸市役所都市計画局
アーバンデザイン室
TEL: 078(322)5484

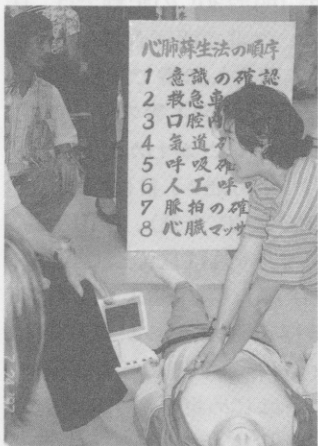
防災委員会活動報告

平成8年10月の例会において防災委員会の設置が承認され同年12月2日第1回防災委員会を開催し、今後の活動方針などについて討議がなされ、その後、回を重ねて現在旧居留地内の企業向け“防災マニュアル作成ガイド”を鋭意作成中であり間もなく完成予定です。今後の取り組みとしては、災害に備えた事業所間のネットワークの構築、自主防災力や福祉の向上を目指した自主防災活動計画作成に取り組む予定です。

例えば、●災害に備えた地域内の事業所による役割分担、

協力に関する計画づくり

- 市民救命士の資格取得運動（当初1,000人取得を目標）
- 地域ぐるみの防災訓練の実施
- 防災シンポジウムの開催など



◇旧居留地に62名の女性市民救命士、新たに誕生

去る7月24日東京海上8階会議室に於いて女性のみによる市民救命士講習会を開催。参加者62名全員が市民救命士の資格を取得されました。今後も継続して行いますので、多数の参加をお待ちしております。

◇生田自消連消防大会に旧居留地も参加予定

本年11月初旬に予定されている毎年恒例の消防大会に本年は旧居留地も参加する予定です。

旧居留地連絡協議会がはり紙など違法広告物の除去活動を行う地域団体に認定されました



当協議会では「クリーン作戦」として、春秋各一回地域内の清掃活動をしています。その際に道路上のはり紙、はり札、立て看板などの違法広告物の除去作業も実施しています。今回、違法広告物の除去作業を行う地域団体に神戸市より認定されましたので、今後そうした場合には、一定の基準に基づき神戸市から助成金を受けることができることになりました。（緑化・クリーン委員会）

MEMORANDUM

MAY. 97 - SEP. 97

- | | |
|---------------------------|---|
| ■5月23日(金) 親睦ゴルフ会 | ■8月8日(金) 納涼親睦会 於:六甲山納涼 |
| ■6月18日(水) 研修・見学会 | ■9月12日(金) 研修・見学会 |
| 於:播磨科学公園都市、
播磨山崎「花菖蒲園」 | 於:神戸市環境局西クリーンセンター、
日本硝子(株) 尼崎工場、
神戸市立フルーツ・フラワーパーク |
| ■7月18日(金) クリーン作戦 | |

INFORMATION

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ■10月下旬 クリーン作戦 | ■12月12日(金)~25日(木) |
| ■10月17日(金) 親睦ゴルフ会 | 神戸ルミナリエ |
| (美奈木ゴルフ倶楽部) | ■12月14日(日) 旧居留地クリスマス |
| ■11月3日(月) 明石海峽ウォークラリー | コンサート「第九交響曲」 |

旧居留地クリスマスコンサートにペアで250組をご招待

主催:旧居留地連絡協議会 共催:さくら銀行 後援:神戸市、(財)神戸市民文化振興財団

日時/12月14日(日)午後4時開演(午後3時30分開場)

場所/さくら銀行神戸営業部1階ロビー 入場無料(但し、要整理券)

[入場整理券応募要領]住所、氏名、年齢、電話番号をご記入のうえ、〒650 神戸市中央区播磨町30大丸カーポート内旧居留地倶楽部へ、往復はがきでお申し込みください。

締め切り/11月21日(金)必着。応募多数の場合は抽選のうえ当選者のみに入場整理券を発送。

*またこのコンサートにコーラスに参加しませんか。旧居留地に勤務している方ならどなたでもOKです。詳しくはイベント委員会までお問い合わせください。

まちづくり通信 “21世紀へ”

次々にニューフェイスが登場する旧居留地。ここにも新しさの中に懐かしさが映ります。活気づく街の再建状況は次の通りです。

- ① 第一楼 (平成8年10月18日(金)完成)
- ② ホテル ヴィアマーレ 神戸 (平成9年2月20日(木)完成)
- ③ 港都ビル (平成9年2月28日(金)完成)
- ④ 大丸神戸店 (平成9年3月2日(日)完成)
- ⑤ 旧居留地15番館 (平成10年3月完成予定)
重文指定建築物では初めての免震工法を採用。がれきの約7割を再利用して、以前と同じ姿に復元します。
- ⑥ 明海ビル (平成10年1月完成予定)
歴史と伝統を重んじた風格あるビルの再建とともに低層部には夜間・休日の活性化を促す商業施設の導入や憩いの場となる公共的小広場の提供も。
- ⑦ 常盤ビル(平成10年1月完成予定)
外観はクラシカルにそしてモダンに、高級感漂う御影石とガラス。1~2階は店舗、3~8階は事務所スペースの建物です。
- ⑧ 神戸旧居留地平和ビル (平成10年2月完成予定)
旧居留地の街並みを考慮し「新・旧の融合」を具体化した建物。
- ⑨ 海岸ビル (平成10年1月完成予定)
外壁復元。公開空地を拡大して公共広場に提供します。
- ⑩ 日本ビル (平成10年10月4日完成予定)
私たちは時代を越えて理想空間を創造しています。
- ⑪ 神栄ビル(平成10年3月完成予定)
地上8階地下2階、外観はシルク色を基調にした建物です。
- ⑫ 三宮第一生命ビル(平成10年12月完成予定)
地震の際に建物の揺れを低減する制震装置の設置やスプリンクラー設備と防災設備の完備個別空調システムなど快適なオフィス環境を演出したビルです。
- ⑬ 三菱信託銀行(平成11年4月完成予定)
南西部分に街角広場を配置し低層部は旧居留地の歴史性を配慮した落ち着いた重厚なデザインをめざします。
- ⑭ 新神戸関西電力ビル(平成11年12月完成予定)
電力供給の要として、神戸のシンボルゾーンにふさわしい建物になっています。冷房に昼間の電気を使わない工夫・省エネルギー対策、また、耐震性を高める等災害にも強い設計となっています。地上18階、地下2階。
- ⑮ NTT新神戸港ビル(平成14年完成予定)
地上24階、地下3階、塔屋1階の高層ビル。ショールームや事務所をはじめ屋上にはヘリポートもあります。

復興に向けて動き出したビル



この街をもっと知りたくて。歴史散歩シリーズ 3

開港と在神中国人たち



「摂州神戸海岸繁栄之図」(部分) 明治4年(1871) 神戸市立博物館所蔵

1868年1月1日(慶応3年12月7日)の開港に伴い設けられた外国人居留地については、この「歴史散歩シリーズ1」で少しお話ししました。外国人居留地は、貿易を行うために外国人が居住することを認めた一定区域をさしますが、開港後その西方と北方に、内外人の「雑居地」が認められます。神戸の開港が、幕府から明治政府へ政権が移る激動期のさなかで、開港時に居留地の造成工事が完成していなかったため、新政府が、外国人の居留地外での居住を認めたためです。雑居地の範囲は、東は生田川から西は宇治川までの、北は山辺から海岸までの区域(現在の中央区西部)です。

さて、神戸が開港すると、西洋人商人と日本人との取引の仲立ちをする買弁や貿易商など、数多くの中国人が来神するようになります。彼らの中には、香港や上海から来日し、長崎や横浜ですでに実績をつくった人もいまし

た。開港当時非条約国だった中国の人々は、貿易・商業活動に便利で、居留地に近く港にも近い、雑居地内の元町通・栄町通・海岸通あたりに多く住むようになります。現在の中華街・南京町はその一部にあたります。

上の資料は、大阪の浮世絵師・長谷川小信(1848～1940年、1875・明治8年に二代貞信を襲名)の描いた錦絵『摂州神戸海岸繁栄之図』のほぼ左半分です。1871年(明治4)頃の雑居地海岸から、東に続く居留地海岸通が描かれ、画面中ほどにはメリケン波止場、その後方(北側)には居留地の街並みが見えます。海岸通には、馬車・人力車などの新しい乗り物、通りを行き交う外国人や日本人などが一堂に描かれ、開港場・神戸で、新しい時代の息吹に接した画者の感動が伝わってくるようです。画面右下方には日本人と商談を交す中国人の姿も見え、西洋人とともに早くから中国人が活躍してい

るようすを知ることができます。

居留地内でも、2番の香港上海銀行・103番のバターフィールド&スワイヤ(イギリス系の船会社)での中国人買弁の活躍はよく知られています。また、1897年(明治30)の記録では、居留地西端の、42番で西洋食料品・洋酒販売等の「広同生」、43番で洋服裁縫の「其昌号」と印刷・製本等の「怡南号」が営業していたことがわかります。貿易商では、栄町通2丁目に「怡和号」を開いた麦少彭(広東系)、下山手通3丁目「怡生号」の呉錦堂(三江(江蘇・浙江・江西)系)、海岸通3丁目「復興号」の王敬祥(福建系)らが有名です。

彼らは、同郷の組織などを基盤に、香港・上海をはじめ東アジア地域に張りめぐらした緊密なネットワークを生かし、神戸の重要な輸出産業だったマッチの輸出などの貿易、料理・洋服仕立・理髪・印刷業など各方面で活躍しました(料理・洋服仕立・理髪業を、それぞれ包丁・ハサミ・カミソリの三つの刃物を使うため、三把刀といえます)。

『神戸市統計書』によれば、居留地が返還された1899年(明治32)には、神戸に在留の中国人の人口は1,600人に及び、外国人人口の6割を超えています。彼らは、同郷団体・中華会館、墓地・関帝廟・学校(現在の神戸中華同文学校)など、彼ら独自のコミュニティを形成し、神戸の発展に重要な役割を果たしてきました。

神戸市立博物館学芸員 田井玲子

新 会 員 募 集

●入会のお問合わせ、お申込みは
神戸市中央区京町79 南橋
TEL.078 (222) 2700 佐久間まで

旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町30大丸カーポート7階
TEL.078(332)0151 FAX.078(332)0052